事務事業評価表　平成23年度

政策　明日につながる産業の振興

施策　都市型農業の推進

基本事業　生産性の高い農業経営の確立

事業名　経営体育成補助事業

[0992]

部名	経済部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	平成22年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果

対象	（誰、何に対して事業を行うのか） 農家	手段	（事務事業の内容、やり方、手段） 農業用機械の導入や土地基盤の整備などにより、農業経営の発展・改善を図る
意図	（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） 農家の経営力強化により、その振興を図る		

事業量・コスト・指標の推移

区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	農家世帯数	世帯数			483	
対象指標2	事業参加農家数	戸			11	
活動指標1	導入する農業用機械の台数	台			12	
活動指標2	土地基盤整備の件数	件			1	
成果指標1	経営面積の拡大	ha			2.5	
成果指標2	雇用の創出（年間延べ人数）	人			10,850	
単位コスト指標						
事業費計（A）		千円	0	0	8,927	0
正職員人件費（B）		千円	0	0	0	0
総事業費（A）＋（B）		**千円**	**0**	**0**	**8,927**	**0**

費用内訳

22年度	負担金・補助及び交付金 8,927千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策として平成22年度に限って当事業を実施。

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

⑴税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- ★妥当である
- 妥当性が低い

理由・根拠は？

農業経営の発展・改善が図られることは、農家、消費者共にメリットがあり、安全・安心な農産物生産の推進につながり妥当。

⑵上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- ★貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・根拠は？

本事業の成果は、直接上位の事業成果指標（一戸当たり生産農業所得の安定）につながるため貢献度は大きい。

⑶計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- ★あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・根拠は？

農業用機械の導入や土地基盤の整備などにより、農業経営の発展・改善が図られ、経営面積の拡大等が進み、成果はあがっている。

⑷成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地　大
- 成果向上余地　中
- ★成果向上余地　小・なし

理由・根拠は？

農家負担もあることから、事業の拡大には限界がある。

⑸現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ★ない

理由・根拠は？

平成22年度で完結した事業であるため。